

平成 23 年度 工学教育連合講演会 開催案内と参加募集
サステナブル・ディベロップメントと工学教育

近年、地球温暖化はもとより鉱物資源、エネルギー、水資源、食料供給、生物多様性、南北問題等、様々な面からサステナビリティを危ぶむ議論があふれているが、それらの多くは、現状の解釈・理解と将来の悲観的な見通しに終始し、具体的な解決方法の提案に結びつくものは極めて乏しく、たとえあっても全体的な視点を欠く場合が多い。そもそも、工学の使命は課題に対する現実的な解を時間軸を考慮して提示することであり、こうした多面的課題に対して、中長期かつ地球規模の視点に立った総合的ソリューションを導き出す能力の育成が、これからの工学教育に強く求められているといえよう。

サステナブル・ディベロップメントを真剣に希求するなかで、今後ますます増加する工学教育の重要性、ひいては工学そのもの、さらにはその工学を担う人材のサステナブル・ディベロップメントとグローバルゼーションについて論考する。

日 時：平成 23 年 9 月 7 日（水） 13：30～17：35（受付開始：13：00）

会 場：北海道大学大学院工学研究院オープンホール（〒060-8628 札幌市北区北 1 3 条西 8 丁目）

主 催：日本工学教育協会

共 催：資源・素材学会（幹事）（以下五十音順）化学工学会、計測自動制御学会、自動車技術会、情報処理学会、精密工学会、繊維学会、電気学会、電子情報通信学会、土木学会、日本化学会、日本機械学会、日本教育工学会、日本金属学会、日本経営工学会、日本原子力学会、日本建築学会、日本工学会、日本設計工学会、日本セラミックス協会、日本鉄鋼協会

後 援（依頼予定）：文部科学省 経済産業省 国土交通省 厚生労働省 日本学術会議

協 賛（依頼予定）：日刊工業新聞社 日本工学アカデミー フジサンケイビジネスアイ

定 員：200 名（先着順）

参加費：主共催学協会会員：2,500 円 非会員：3,000 円（資料代を含む）

申込方法：日本工学教育協会HPからお申込ください。

参加費は下記の指定口座にお振込みください。

振込先：ミツイスミトモギンコウ ミ タドリシテン 三井住友銀行三田通支店（普通）6867655 口座名：シ ャ（社）日本工学教育協会連合口

※金融機関により、公益社団法人のよみがなは コウエキシャダンホウジン または法人略語 シャ）を使用しています。

※請求書が必要な方は別途ご連絡ください。

申込先：工学教育連合講演会事務局

（社）日本工学教育協会 〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館 4 階（担当 川上）

Tel：03-5442-1021 Fax：03-5442-0241 URL：<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsee/>

平成23年度 工学教育連合講演会プログラム

開会挨拶 (13:30~13:40)

山口 勉 (講演会実行委員長、東邦大学教授)

司会：岡部 進 (講演会実行委員、資源・素材学会事務局長)

講演Ⅰ (13:40~14:25) -45分

「サステナブル・ディベロップメントと工学教育 (仮題)」

中村 崇 (資源・素材学会会長、東北大学多元物質科学研究所教授)

講演Ⅱ (14:25~15:10) -45分

「サステナブル・ディベロップメントとエンジニアリングデザイン教育 (仮題)」

大中 逸雄 (JABEE 副会長、大阪大学名誉教授)

— 休み (15:10~15:30)

司会：山口勉 (講演会実行委員長、東邦大学教授)

講演Ⅲ (15:30~16:15) -45分

「工学系大学院教育におけるグローバル化の試み (仮題)」

金子 勝比古 (北海道大学工学研究院教授、工学系教育研究センター長)

講演Ⅳ (16:15~17:00) -45分

「工学教育のグローバル化を目指して (仮題)」

服部 拓也 (日本工学教育協会会長、日本原子力産業協会理事長)

討 論 (17:00~17:30) -30分

閉会挨拶 (17:30~17:35)

恒川昌美 (講演会実行副委員長、

北海道大学キャリアセンター長)

工学教育連合講演会とは

工学教育連合講演会の目的は、工学教育を取り巻く近時の社会的環境の変化を踏まえて、工学教育に関心の深い主要学協会が連合し、これからの工学教育のあり方について、各学協会からの講演と多角的な議論情報交換により、工学教育の一層の改善と工学・技術の発展に寄与するために開催しております。